



会 社 名 ア ト ラ グ ル ー プ 株 式 会 社
代 表 者 名 代表取締役会長兼社長 久 世 博 之
 (コード番号：6029 東証スタンダード・名証メイン)
問 合 せ 先 取締役 田 中 克 典
 (T E L . 0 6 - 6 5 3 3 - 7 6 2 2)

RBB 株式会社との合併会社設立（特定子会社の異動）及び子会社における

新たな事業の開始に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、RBB 株式会社（山梨県西八代郡市川三郷町、代表取締役 鄭 東平、以下「RBB 社」といいます。）との共同出資により、ロボットシステムの販売・導入支援等を行う合弁会社「SIbot 株式会社」（以下「新会社」といいます。）を設立すること、並びに新会社において新たな事業を開始することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。なお、新会社は当社の連結子会社となり、その資本金の額が当社の資本金の額の 100 分の 10 以上に相当するため、当社の特定子会社に該当する見込みです。

記

1. 合併会社設立の目的

当社グループは、鍼灸接骨院向け経営支援プラットフォーム「A-COMS」を中核に、鍼灸接骨院の開業・運営支援及び介護関連事業に加え、再生医療をはじめとする先端医療分野との連携にも取り組み、人の身体に触れ、健康を支える現場に長年向き合っておりました。また、検査結果を可視化し、AI が所見を提案することで施術者の施術計画づくりを支援する「アトラゲージ」を開発・提供するなど、施術の現場における AI に関する知見を着実に積み重ねております。

一方、医療・介護・ヘルスケアの現場では、少子高齢化を背景とした担い手不足が年々深刻化しており、サービスの質を維持しながら現場の負担を軽減する新たな手段の確立が、業界共通の課題となっております。

こうした中、AI の活用は、情報の分析や提案にとどまらず、AI を搭載し自律的に作業を行うヒューマノイドロボット（フィジカル AI）へと広がりつつあり、人手不足を補う有力な手段として世界的に開発と実用化が進んでおります。その性能を左右するのは、ロボットに動作を学習させるための質の高い実世界データであり、とりわけ人の身体に接する医療・介護分野では、学習データの不足が実用化に向けた大きな課題とされております。

当社は、2026 年 7 月 3 日付「長崎県立大学へのヒューマノイドロボット寄贈に関するお知らせ」にてお知らせしたとおり、ロボティクス・フィジカル AI 分野における知見の蓄積と事業機会の探索を進めてまいりました。その過程で、当社の研究助成先である研究者の紹介により RBB 社と接点を持

ち、以降、ヒューマノイドロボットを活用した協業のあり方について同社と協議を重ねてまいりました。RBB 社は、半導体製造装置、産業用ロボット及び各種機械装置のシステムインテグレーションを主力事業とし、システムの開発・設計から装置の構造設計・製作までを手掛け、顧客の自動化・省人化・効率化を支援してまいりました。また、ヒューマノイドロボットをはじめとする各種ロボットの導入・二次開発・販売にも実績を有しております。当社は、同社の技術力及び調達力と、当社グループが有する施術・介護の現場基盤、顧客ネットワーク並びに上場企業としての信用力を組み合わせることで、ロボットの社会実装を加速できると判断し、合併会社を設立することといたしました。

新会社は、ヒューマノイドロボット等の販売及び導入支援等に取り組むとともに、ヒューマノイドロボットの学習用データを収集・生成する拠点である「データファクトリー（トレーニングセンター）」の整備・運営を計画しております。データファクトリーでは、動作データの蓄積を進め、産業分野での実用化から着手しつつ、将来的には医療・介護の現場で活用可能なロボットの実現に資するデータ基盤の構築を目指してまいります。

当社は、新会社の設立を、既存事業で培った知見を活かしたヘルスケア領域の拡大と医療・介護分野における事業の深化に向けた中長期的な成長戦略の第一歩と位置づけ、企業価値の向上に努めてまいります。

2. 設立する合併会社の概要

(1) 名称	SIbot 株式会社	
(2) 所在地	東京都港区高輪二丁目 16 番 45 号	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 久世 博之（当社代表取締役会長兼社長）	
(4) 事業内容	ロボットシステム及び産業用ソフトウェアの企画、設計、開発、販売及び保守並びに顧客へのサポート業務等	
(5) 資本金	1,000 万円	
(6) 設立年月日	2026 年 10 月 31 日（予定）	
(7) 決算期	12 月 31 日	
(8) 大株主及び持株比率	アトラグループ株式会社	51.0%（出資額 510 万円）
	RBB 株式会社	49.0%（出資額 490 万円）
(9) 上場会社と当該会社との間の関係		
	資本関係	当社が 51.0%を出資し、当社の連結子会社となる予定です。
	人的関係	当社の代表取締役会長兼社長が当該会社の代表取締役を兼任するほか、当社より取締役 1 名及び監査役 1 名を派遣する予定です。
	取引関係	新設会社であるため、該当事項はありません。

3. 子会社における新たな事業の概要

(1) 新たな事業の内容	ヒューマノイドロボット等のロボットシステムの販売及び導入支援等並びにロボットの学習用データを収集・生成する「データファクトリー（トレーニングセンター）」の整備・運営（計画）
--------------	--

(2) 当該事業を担当する会社	SIbot 株式会社（新会社）
(3) 新たな事業を開始する時期	2026 年中（予定）
(4) 新たな事業のために特別に支出する予定額の合計額	本事業の開始に当たり、当社においてデータファクトリーに係る設備（取得予定額 100 百万円）を取得して新会社に貸与するほか、内装工事費及び開業準備費用等 50 百万円を含め、総額約 150 百万円の支出を予定しております。 なお、本事業に係る所要資金につきましては、当社の自己資金により手当てする方針です。

4. 合併相手先の概要

(1) 名称	RBB 株式会社		
(2) 所在地	山梨県西八代郡市川三郷町市川大門 2216 番地 1		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 鄭 東平		
(4) 事業内容	半導体製造装置、産業用ロボット及び各種機械装置のシステムインテグレーション（システムの開発・設計、装置の構造設計及び製作）		
(5) 資本金	300 万円		
(6) 設立年月日	2016 年 5 月 10 日		
(7) 大株主及び持株比率	鄭 東平 35.0% 張 洋 31.6%		
(8) 上場会社と当該会社との間の関係			
資本関係	該当事項はありません。		
人的関係	該当事項はありません。		
取引関係	該当事項はありません。		
関連当事者への該当状況	該当事項はありません。		
(9) 最近 3 年間の経営成績及び財政状態（単位：千円。特記しているものを除く。）			
決算期	2024 年 4 月期	2025 年 4 月期	2026 年 4 月期
純資産	30,764	92,382	152,135
総資産	138,988	321,877	493,068
1 株当たり純資産（円）	512,734.90	1,539,714.05	2,535,589.60
売上高	192,478	464,910	752,166
営業利益	△3,439	93,668	73,449
経常利益	△72	105,321	82,900
当期純利益	△1,751	61,618	59,752
1 株当たり当期純利益（円）	△29,194.25	1,026,979.15	995,875.55
1 株当たり配当金（円）	0.00	0.00	0.00

5. 日程

取締役会決議日	2026 年 10 月 29 日
新会社設立日（設立登記申請日）	2026 年 10 月 31 日（予定）
事業開始日	2026 年中（予定）

6. 今後の見通し

新会社は当社の連結子会社となる予定です。本件が 2026 年 12 月期の当社連結業績に与える影響は軽微であると見込んでおりますが、中長期的には当社グループの業績及び企業価値の向上に資するものと考えております。

本事業は 2026 年中の開始を予定しており、2027 年 12 月期以降の当社グループの連結売上高の増加に寄与するものと見込んでおります。一方、事業開始当初は設備の減価償却費等の費用が先行して発生する見込みであり、その計上時期及び金額は設備の稼働開始時期や事業の立ち上がり状況等により変動し得るため、2027 年 12 月期の連結損益に与える影響については、現時点で確定的にお示しすることは困難であります。今後、開示すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

（参考）当期連結業績予想及び前期連結実績

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益
当期連結業績予想 (2026 年 12 月期)	2,700 百万円	160 百万円	165 百万円	15 百万円
前期連結実績 (2025 年 12 月期)	3,927 百万円	140 百万円	148 百万円	258 百万円

以 上